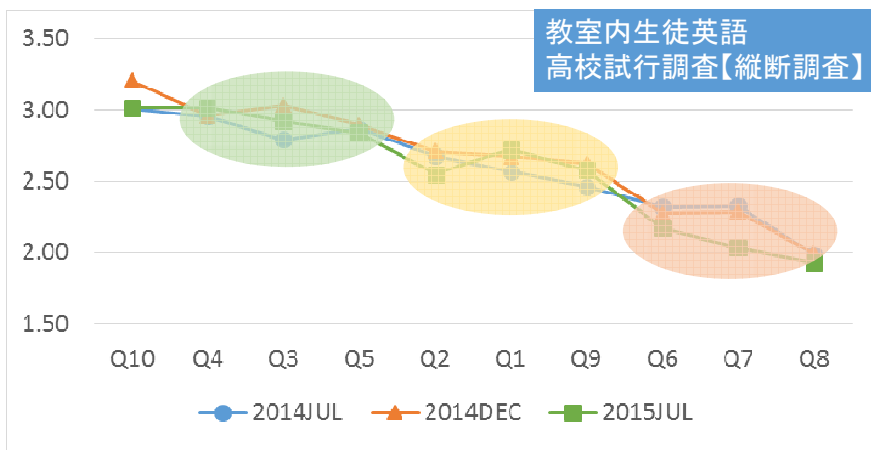


Can-Do尺度、教師機能別尺度と 内省尺度に基づく 生徒の英語使用を引き出す教師の言語調整

長沼 君主
(東海大学)

永末 温子
(九州共立大学)

*本研究は、JSPS科研費17K04821の助成を受けたものです。



Q10. 授業中に先生がクラス全体に対して話している英語は・・・

Q4. 教科書を読んで、教科書の本文の欄外に書かれた質問に答えることができる。

Q3. 教科書を読んで、口頭で内容に関する質問に答えることができる。

Q5. 教科書を読んで、本文の流れを踏まえて内容を理解し、質問に答えることができる。

Q2. 先生からの質問に対する回答で、英語の誤りを指摘されて、言い直すことができる。

Q1. 先生からの質問に、簡単な言い換えなしでも、質問に英語で答えることができる。

Q9. 授業中に先生が話す英語を聞いて理解できる。

Q6. 授業中にペアワークやグループワークで、会話やディスカッションができる。

Q7. 授業中にペアワークやグループワークで、相手の発言が分からない時に聞き返しができる。

Q8. 授業中に人の発表を聞いたり、作文を読んだりして、コメントをすることができる。

発問

応答

協調

「発問シナリオ」
の作成と共有

教師の言語調整
のためのツール

福岡県内県立高等学校での取り組み(2013年～2017年)

1. 2013年 A高等学校での取り組み

教科書『LANDMARK English Communication I』

「コミュニケーション英語 I」(4単位)

「英語を英語で」の授業展開→発問シナリオの作成

Outputを前提とした教科書のレベル

教科書本文→発展的コミュニケーション活動が可能であるか

2. 2014年～2016年 B高等学校での取り組み

教科書『PRO-VISION English Communication I・II・III』

「コミュニケーション英語 I・II・III」(各3単位)

「英語を英語で」の授業展開→発問シナリオの作成

深い理解・思考を求められる教科書のレベル

→推測質問 語彙・文法的な文脈上の深い気づき

3. 2017年 B高等学校での取り組み

教科書『PROMINENCE English Communication II』

「コミュニケーション英語 II」(3単位)

学年教科担当者間の発問シナリオの共有→同僚性

アクティブラーニングの一部導入

教科書本文→発展的Output 活動

本実践における教室内英語力評価尺度の活用

教室内生徒英語Can-Do自己評価尺度

・各学期末に調査

「発問」「応答」「協調」場面における自己評価・振り返りコメントを参照

⇒生徒の言語使用の状態や縦断的変化の把握

授業の映像記録を基にした普段の授業の振り返り

教室内教師英語Can-Do自己評価尺度

・各学期末に調査

「誘出」「促進」「明確化」「修正」「意見」といった言語機能に関する使用頻度をチェック

⇒教師の言語使用の状態や縦断的変化の把握

教師の言語調整

発問シナリオ作成のストラテジー

理解を確かにする事実発問

- ・**命題的理解**を促すための、**前提的理解**のための発話を行う。
- ・教科書欄外の質問が抽象的な場合、**分かりやすい発話にリフレージング**して生徒の回答を促す。
- ・教科書の実事発問で**1文1文字義的に追うのではなく、段階的に理解を深める。**
- ・キーセンテンスやキーワードを**直接与えずに、間接的な説明を与えたり、ヒントを与えたりして**生徒の回答を促す。
- ・発問の中で**ヒントを与えないようにして**、回答を引き出す。
- ・直接的な問いかけだけでなく、**2者選択をさせる**ことで理解を深める。

深い理解を促す事実発問

- ・説明を与えてしまうのではなく、**読み取った情報と既有知識**を照らし合わせながら**本文理解の文脈化**を図る。
- ・単なる字義的な理解ではなく**概念を対比させて**深い理解を促す。
- ・**1文1文字義的な事実確認の発問**だけでなく、**パラグラフ間やパート間の論理を理解**させるような発問を行い、深い理解を促す。
- ・本文だけでなく、**教科書掲載資料等を参照**しながら発話を引き出す。

本文理解を補う推測発問

- ・**事実間の足りない情報の橋渡し推論**や**行間の流れを補うための推論発問**を行う。

文法的ニュアンス・語彙理解に関する発問

- ・**文法的なニュアンスの違いに気づかせる**ことで、理解を深める。
 - ・**語彙の定義を推測**させながら引き出す。
 - ・**高度な語彙表現を言い換えたり、定義的な説明を加えたりする。**
- (永末・長沼、2018)

実際の授業での調整のポイント

(1) 発問を繰り返す。

発話スピード・使用する文法・語彙の難易度を変える。
発問形式を平易にする。→疑問詞を使用せず、Yes/Noで回答させる。
シナリオ段階より細かなステップを踏む発問を行い、**推測的理解**を促す。

(2) 完璧な回答が引き出せない場合は、単語レベルでの引き出しや、**部分的に引き出し、部分的に引き出した発話をつなげて言い直しをしながら、長い発話を引き出す。**

(3) **生徒が的を射ない回答や誤答をした場合**、否定的にリスポンスせず、**その回答を利用して、正しい回答に導けるように、回答した生徒のみならずクラス全体にさらに発話を投げかける。**

(4) 生徒の回答に対して、**生徒が使用した語句の定義をさらに説明したり、付加的な情報を提供したりして、生徒の興味・関心をさらに喚起させる。**

(5) **生徒が回答につまずいた場合は**、教師からの追加発話だけでなく、**ペアやグループでディスカッションさせる。**

(6) **英語で発話し、コミュニケーションを図ろうとする生徒の態度を評価して、肯定的なコメントを述べる。**

(永末・長沼、2018)

生徒のコメント(A高等学校 2015年7月調査)

予習として本文の論理展開を理解しておくことで、先生からの質問の意味がわかり、何を答えればよいか判断できるので、予習は大切だと思う。これからも欠かさず頑張りたい。

先生がクラス全体に出す指示や、内容の説明に関しては、ほとんど理解できるようになった。しかし内容を少し掘り下げるとまだまだ理解できないことがあるので、もっと英語力を伸ばしたいです。

昨年よりも圧倒的に授業スピードが速くなっているが、慣れているのでついていけている。もう少し速くても大丈夫だと思う。以前より自信がついた気がする。

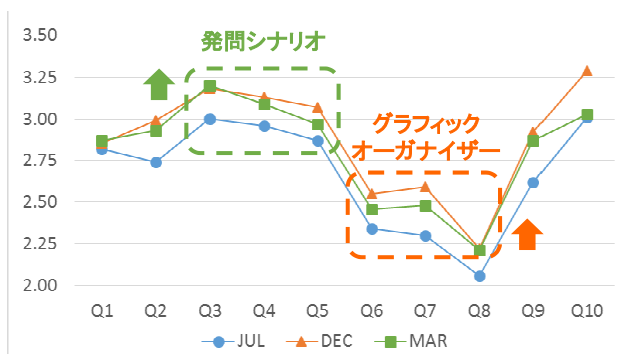
2年次になって、初めて『英語を英語での』授業を受けてみて、日頃の授業から英語を使うことはとても大変だけど、内容の濃い楽しい授業と感じたので、これからも続けてほしいと感じた。

今年初めてこのスタイルの授業を受けているが、日本語での授業の時より、たくさん考えるので少し大変だが、それによって理解が深まっていると思うので、今の授業スタイルが好きです。

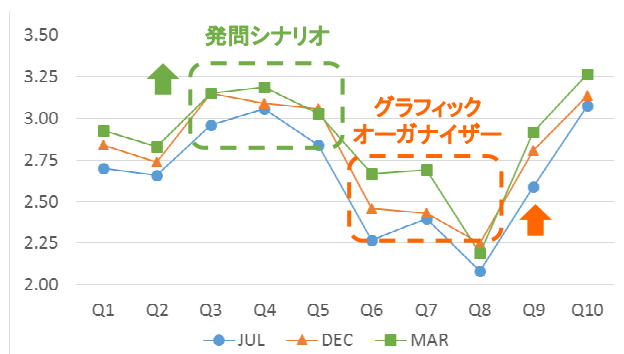
自分は英語が苦手ですが、自分なりにこの一学期間がんばってみたら、それだけで一気に先生の英語が理解できるようになり、授業への意欲がわきました。これからも頑張りたいと思います。

教室内生徒英語Can-Do評価尺度調査 2017年度7月・12月・3月 / 公立高校2年生:242名(6クラス)

NOV 教職歴5年未満で、高校教員として初年度



EXP 教職歴35年以上で、「英語を英語で」の授業に長年取り組む



Q10. 授業中に先生がクラス全体に対して話している英語は・・・

Q4. 教科書を読んで、教科書の本文の欄外に書かれた質問に答えることができる。

Q3. 教科書を読んで、口頭で内容に関する質問に答えることができる。

Q5. 教科書を読んで、本文の流れを踏まえて内容を理解し、質問に答えることができる。

Q2. 先生からの質問に対する回答で、英語の誤りを指摘されて、言い直すことができる。

Q1. 先生からの質問に、簡単な言い換えなしでも、質問に英語で答えることができる。

Q9. 授業中に先生が話す英語を聞いて理解できる。

Q6. 授業中にペアワークやグループワークで、会話やディスカッションができる。

Q7. 授業中にペアワークやグループワークで、相手の発言が分からない時に聞き返しができる。

Q8. 授業中に人の発表を聞いたり、作文を読んだりして、コメントをすることができる。

発問

応答

協調

■ 経験の高い教員が、授業のための発問をシナリオ化
→若手教員は発問シナリオから発問や生徒からの回答の引き出し方などを共有しつつ授業実践

■ 前年度には「英語を英語で」の授業を未実施の学年
→学期ごとの調査結果を参照して授業内容を見直し、「教室内生徒英語力尺度」も参照にしつつ、教師の言語使用や、生徒の言語使用の場を調整

生徒のコメント(B高高等学校 2017年7月調査) (経験の長い教師のクラス)

授業では毎回のようにあてられるけれど、**文法力や語彙力**も確実についてきているのでうれしいです。授業でアクティブにいろいろしゃべっていただけるのでいいと思います。

英語での授業は、はじめはびっくりしたけれど、**慣れると楽しい**。自分で英語で理解できるととても良いと思う。**予習**をきちんとしていないとついていけないので、1年次よりも予習をきちんとするようになりました。

私は英語がとても**苦手**です。英語での授業になり、**話を一生懸命聞こう**とするようになってから、**リスニング力**が1年の時よりも良くなりました。

先生が話すだけになるのではないかと感じていましたが、**その都度言い換えやステップを踏ませる**ようにされていてむしろ深く**内容理解**ができたように感じます。

最初は英語での授業に慣れずに、**どんどん流れてしまったけれど**、**今では慣れて授業が英語であることに違和感を感じなくなり**、自然と授業に入れるようになった。

簡単な質問や、指示なら理解できるようになったので、**複雑な英語での説明も聞き取れるようになりたいです**。

発問シナリオ (PROMINENCE English Communication II Lesson3 Part(1))

Have you ever heard the following saying? "A picture is worth a thousand words." In the painting *Roadblock*, a truck driver is angry, his assistant is trying to draw a dog's attention, some people look surprised, and others are laughing. Such a scene represents what some of us experience in our everyday lives. The painting is so vivid and expressive that we feel as if we can hear the voices and laughter of the people in the painting. It would be difficult even for great writers to describe the expressions of the people and the atmosphere of the scene more vividly with words.

Q-A Scenario

T: Exactly. Can you tell me what people in the picture are doing? What did Rockwell paint? Any volunteer? **Please tell me as much as you can about the people in the picture are doing.**

S1: A truck driver is angry.

T: Why?

S1: Because the dog kept the driver from driving through the road.

T: Right. The dog was in his way, right?

S2: The driver's assistant is trying to draw a dog's attention.

T: Why?

S2: To let the dog step aside from the road.

T: Good answer. Anyone else?

S3: Some people look surprised, and others are laughing.

T: When you look at the people and the dog in the picture, what would you feel?

S: We feel as if we can hear the voices and laughter of the people.

T: Why do you feel so?

S: Because the painting is so vivid and expressive.

T: Exactly. Norman Rockwell successfully described what was happening and how each person felt, with sense of humor. Do you think great writers could describe the expressions of the people and the atmosphere of the scene more vividly than Norman Rockwell did in his picture?

S: It would be difficult even for great writers to do so.

T: Which conveys a stronger or more vivid message, the painting or the words?

S: I think the paintings convey a stronger message than the words.

T: Right. As a proverb goes, "A picture is worth a thousand words."

話題になっている絵画についての描写

実際の2人の教師の発話

The 1st teacher

生徒の回答の引き出しに苦慮。答えを思わず例示して与えてしまっている。

T: **Please describe as much as what they are doing.** For example, a truck driver is angry. (30-second silence)
 A truck driver is angry, (そのうしろ) His assistant (何しているの?) His assistant...
 S: His assistant is trying to draw a dog's attention.
 T: **Thank you very much.** The driver's assistant is trying to draw a dog's attention, right?

回答したことを肯定的に評価。

T: **Tell me one of the people in the picture, what he or she is doing?**
 You can see a lot of people, right?
 S: **A truck driver**.....
 T: All right, a truck driver...
 S: **トラックの運転手**
 T: English please. A truck driver is.... Look at your textbook. Look at your textbook, line the 2nd and 3rd, right. And you can see the word, a truck driver is...
 S: **Angry.**
 T: **All right. OK. Right. Thank you.** Mr. Kiritani, please stand up. So, **why is the truck driver angry?** There is no answer in your textbook. Think.
 S: **道路をブロックしているから。**
 T: English please. Because the dog, because a dog. Kiritani, look at the blackboard. Your answer is on the blackboard. Please read the line. (頑張れ、前の時間のノートに書いてるやん。【隣の席の英語の得意な生徒のアシスト】)
 S: **A dog blocked the road.**
 T: The dog blocked the road. OK. The dog prevented the truck from going through the road. OK. Very good. **Thank you.**

The 2nd teacher

生徒の回答を引き出すために追加発話。日本語での回答の言い直しをさせ、英語での発話をする努力を促す。

教室内教師英語Can-Do評価調査(機能別尺度) 2017年度7月・12月・3月

EXP

■ 誘出 (Elicitation): 3 → 3 → 4

■ 促進 (Facilitation): 4 → 4 → 4

■ 明確化 (Clarification Request): 3 → 3 → 3

■ 修正 (Recast): 3 → 4 → 4

■ 意見 (Comment): 3 → 4 → 4

■ 評価 (Assessment): 3 → 3 → 3

前後の発問の中で意味を持たせつつ、足場を作りながら発話を段階的に引き出した回答をつなげて長い発話を引き出させた。【誘出:3月】

発話につまずく場合には、教師からの追加発話だけでなく、ペアやグループでディスカッションをさせたうえで、発表させ、教師がその内容をまとめて、発展的な発話をさらに促した。【促進:7月】

生徒が的を射ない回答や誤答をした場合、その回答を利用して、正しい回答に導けるように、回答した生徒だけでなく、クラス全体を意識して発話を行った。【修正:12月】

英語で発話しコミュニケーションを図ろうとする生徒の態度を評価して、肯定的なコメントを必ず述べる。それに加え、回答内容に関して、クラス全体に対して内容的なコメントを行った。【意見:12月】

生徒の発話の実態に合わせた教室内の教師英語使用の段階的な機能調整

教室内教師英語Can-Do評価調査(内省的分析尺度) 2017年度7月・12月・3月

EXP

- 文法: 3 → 4 → 4
- 語彙: 4 → 4 → 4
- 発音: 4 → 4 → 4
- 指示と説明: 4 → 4 → 4
- インタラクション: 3 → 3 → 4

回答を受けて構文の調整を行い、パラフレーズして繰り返したり、複数の文をつなげて述べたりすることは、容易にできる。文法的なニュアンスの違いに気付いたり、語彙の定義を推測させながら、回答を引き出した。【文法:12月】

生徒が使用する語句の定義を説明したり、言い換えたりすることは、難なく可能である。【語彙:7月】

発音は、国際的に通用する発音レベルであり、生徒のレベルに応じて速度を効果的に調整できる。【発音:7月】

効果的に英語で指示を与えることができ、クラスの雰囲気や、回答する生徒のレベルに応じて臨機応変に説明することができる。【指示と説明:7月】

回答を受けて、パラフレーズして繰り返したり、クラス全体を意識して回答する生徒にコメントを与える。グループでの活動を重視したために、発表内容をまとめて、クラス全体に適切なコメントを行った。【インタラクション:3月】

生徒の発話の実態に合わせた教室内の教師英語使用の段階的な機能調整

教室内生徒英語尺度の活用にあたって

- 生徒からのフィードバックを受けて、**教室内での言語使用を調整し、生徒のより深い英語理解及び使用への足場づくり**に生かすことができる
- Can-Do尺度における縦断的変化は、**生徒の理解力の質的变化**を示すものであるが、**教室内の言語活動の高度化**を示すものでは必ずしもない。
- 授業内容の高度化に際し、数値が低くなることも想定され、尺度は生徒の**自己効力を保ちつつ、活動を高度化していく**にあたってのモニタリングの道具として役に立つ。
- 教師の発話の質的側面を示すものでもなく、教師は「**教室内教師英語力評価尺度**」などを参照しつつ、自己の言語使用を客観視し、自己調整を行っていく必要がある。
- **経験の不足から、言語機能の使用や言語調節を適切にイメージできない場合には、発問シナリオの共有等を通じたパフォーマンスのイメージの共有**が重要である。
- **教室内教師英語Can-Do尺度**の各段階の**授業実践映像の蓄積と共有**が今後の課題である。

教室内教師英語力Can-Do評価尺度における教師言語機能

誘出 (Elicitation) : 頻繁に しばしば たまに 最近していない したことがない【頻度】

- 4. 生徒との応答の中で、適切に言葉を挟むなどしながら、長い発話を引き出すことができる。
- 3. 生徒との応答の中で部分的に引き出した発話をつなげ、言い直すことができる。
- 2. 生徒との応答の中で、質問を工夫し、発話を部分的に引き出すことができる。
- 1. 生徒との応答の中で、発話をうまく引き出すことができない。

明確化 (Clarification Request)

- 4. 生徒の発話の表面的な理解確認だけでなく、発話の意図を尋ねる質問をすることができる。
- 3. 生徒の発話の理解できた箇所を確認した上で、理解できない箇所に質問をすることができる。
- 2. 生徒の発話の理解できない箇所に絞って、発話内容を確認する質問をすることができる。
- 1. 生徒に発話の繰り返しを求めるのみで、発話を引き出すことができない。

意見 (Comment)

- 4. 生徒の発話を口頭で要約した上で、クラスを意識して内容的なコメントをすることができる。
- 3. 生徒の発話に対して、内容を踏まえて本人に対して長めのコメントを言うことができる。
- 2. 生徒の発話に対して、短いコメントや状況に応じたほめ言葉を言うことができる。
- 1. 生徒の発話に対して、決まり文句や単純なほめ言葉しか言うことできない。

CEFRスピーキング評価ルーブリック(基準表)

Table C2: ORAL ASSESSMENT CRITERIA GRID (CEFR Table 3)

	RANGE	ACCURACY	FLUENCY	INTERACTION	COHERENCE
C2	Shows great flexibility reformulating ideas in differing linguistic forms to convey finer shades of meaning precisely, to give emphasis, to differentiate and to eliminate ambiguity. Also has a good command of idiomatic expressions and colloquialisms.	Maintains consistent grammatical control of complex language, even while attention is otherwise engaged (e.g. in forward planning, in monitoring others' reactions).	Can express him/herself spontaneously at length with a natural colloquial flow, avoiding or backtracking around any difficulty so smoothly that the interlocutor is hardly aware of it.	Can interact with ease and skill, picking up and using non-verbal and intonational cues apparently effortlessly. Can interweave his/her contribution into the joint discourse with fully natural turntaking, referencing, allusion making etc.	Can create coherent and cohesive discourse making full and appropriate use of a variety of organisational patterns and a wide range of connectors and other cohesive devices.

+Phonology
in CEFR/CV

教師との関わりで引き出される生徒のやり取りの力は？

B2: Can initiate discourse, take his/her turn when appropriate and end conversation when he/she needs to, though he/she may not always do this elegantly. Can help the discussion along on familiar ground **confirming comprehension, inviting others in**, etc.

誘出

B1+: Can exploit a **basic repertoire of strategies** to keep a conversation or discussion going. Can **give brief comments** on others' views during discussion. Can **intervene to check and confirm detailed information**.

意見

B1: Can initiate, maintain and close simple face-to-face conversation on topics that are familiar or of personal interest. Can **repeat back** part of what someone has said to **confirm mutual understanding**.

明確化(詳細確認+ターンテイキング)

明確化(繰り返し)

A2+: Can **initiate, maintain and close** simple, restricted face-to-face conversation, asking and answering questions on topics of interest, pastimes and past activities. Can **interact** with reasonable ease **in structured situations, given some help**, but participation in open discussion is fairly restricted.

A2: Can ask and answer questions and respond to **simple statements**. Can indicate when he/she is following but is **rarely** able to understand enough to keep conversation going **of his/her own accord**.

Thank You Very Much



発問シナリオ例:「LANDMARK English Communication I」Can-Doリスト解説書
<http://www.shinko-keirin.co.jp/keirinkan/kokyoka/english/index2.html>

n.naganuma@tokai-u.jp
h-nagasu@kyukyo-u.ac.jp